



▲切手シートを掲げる原崎市長(左)古賀局長(中)古賀市の田辺市長(右)

ルーマニアホストタウンフレーム切手贈呈式 ルーマニアとの友好の切手が完成

福津市と古賀市は、ルーマニアの東京2020オリンピック・パラリンピックホストタウンに登録されています。両市がルーマニアとの国際交流を図り、柔道代表チームを応援していることの周知を目的に、両市やルーマニアの景観写真の他、選手と市民との交流の写真を載せた切手シートを日本郵便株式会社が製作。その贈呈式が7月3日に行われ、両市の市長が太宰府天満宮前郵便局の古賀秀策局長から切手シートを受け取りました。古賀局長は「両市とルーマニアの友好関係を大勢の人に知って欲しい」と語っていました。



発行月に1歳の誕生日を迎える赤ちゃんの写真を募集しています。掲載を希望する人はプリントした写真を子育て支援センターなかよしに持参するか、市公式ホームページでも受け付けています。持参の場合、写真はプリントしたものに限り、データの持ち込みは受け付けられません。毎月先着24人で、11月生まれの赤ちゃんは9月10日(金)が受付期限です。

受付、問い合わせ
市子育て支援センターなかよし(ふくとびあ) ☎35・8382
休館日 月曜日、第2土曜日とそれに続く日曜日、祝日

▶写真申込フォーム
9月1日(水)から受付開始



地域の子どもたちにお菓子とかしわ飯を配布 地域でつながる子どもの居場所づくり

子どもたちを対象にお菓子配りなどの活動をしてきたNPO法人メッタークラブは、市住みよいまちづくり推進企画活動補助金の交付団体として採択されました。メッタークラブは7月10日、宮司3区の「くらしのサポートセンターサクス」でお菓子とかしわ飯を集まった小・中学生に配布。代表の水町秀展さんは「将来は子ども食堂を開催して子どもたちの居場所をつくり、子どもの貧困やいじめ、虐待防止などに取り組みたいが、今はコロナ禍で難しい。今後も地域でつながり、一体となってやっていきたい」と語っていました。



▲じゃんけんゲームの後お菓子の入った袋を受け取る子どもたち

東京2020大会コミュニティライブサイトを開催 大型スクリーンで選手を応援

東京2020オリンピックが7月21日から始まり、福津市と古賀市は、事前キャンプの受け入れなど、2018年からルーマニア柔道チームを支援し、3人の選手が本大会に出場。7月25日、26日、30日に各選手の競技が行われることに合わせ、イオンモール福津で競技中継や展示などのイベントを実施しました。男子100kg超級に出場したシミオネス・ブラドゥツ選手の試合観戦に来場した津屋崎武道会柔道部の皆さんは、スティックバルーンを叩き合わせたり、旗を振ったりしながら声援を送っていました。



▲大画面を見ながら応援する津屋崎武道会柔道部の皆さん

宗像警察署が安全指導 夏休みを安全に過ごすために

小学生の夏休みが始まった7月21日の早朝。津屋崎の星ヶ丘区では、ラジオ体操の前に宗像警察署の安全指導が行われました。津屋崎交番に勤務する森田さんは自転車やキックボードは安全な場所で乗ることなど、夏休みを安全に過ごすための約束を子どもたちに伝えていました。



▲パトカーの拡声器で安全指導をする森田さん

あんずの里市が市内小・中学校に物品寄贈 あんずの里市から子どもたちへ

あんずの里市では、イベントなどの際に募金箱を設置し、小・中学校への寄贈や災害支援などへの寄付をしてきました。今回は、市内の小・中学校10校に本などを寄贈。その贈呈式が7月20日に行われ、あんずの里市利用組合の荻原哲夫組合長から原崎市長に寄贈品目録が手渡されました。



▲目録を持つ大嶋教育長(左)荻原組合長(中)原崎市長(右)